

2022年3月

歴史 No. 24

けんぱくものしりシート

しょうかんのんぼさつりゅうぞう

# 聖観音菩薩立像



こちらは二戸市浄法寺町にある天台寺のご本尊の複製です。地元では桂泉観音と呼ばれ、かつては33年に1度しか拝めませんでした。

この聖観音菩薩の美術的な価値をいち早く認めたのは、岡倉天心（※）という日本美術の研究者でした。明治時代、全国で宝物の調査が行われ、そのとき調査員をつとめます。その結果により、国の重要文化財に指定されることになりました。

聖観音菩薩にはノミで彫った横しま模様が、ぎっしりと刻み込まれています。ナタで彫ったようなノミあとを残す技法を「なた彫り」といいますが、主に関東より北の地域で広がった彫りかたです。なた彫りの仏像の中で最も美しいとされるのが、この天台寺の聖観音菩薩立像です。

「なた彫り」拡大図



※岡倉天心 【1863（文久3）～1913（大正2）年】

西洋化が進んだ明治・大正時代、日本美術は古くさく価値が低いものとみなされますが、その価値を正し、日本美術を後の時代に残すよう働きかけました。

天台寺は、2021（令和3）年に亡くなった瀬戸内寂聴さんが18年間住職をつとめていたお寺です。では、天台寺へ行ってみましょう。

# てんだいじりやくず 天台寺略図

てんだいじ やまぜんたい けいだい  
天台寺はひとつの山全体が境内  
(お寺の敷地) です。



はくぶつかん ふくせい どう  
博物館にある複製「銅わに  
ぐち じつぶつ  
口」の実物があります。こ  
れには南朝 (※) の年号  
なちよう ねんごう  
が使われています。



ぶん かざい しゅうぞうこ  
文化財  
収蔵庫

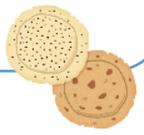
ここにいます。



けいせんぞう  
桂泉蔵

伝  
でん  
長慶天皇の墓  
ちようけいてんのう  
はか

ちようけいてんのう なんほくちようじだい  
長慶天皇とは、南北朝時代  
の南朝 第3代天皇 (※)。  
なんちようだい だいてんのう  
「南部せんべい」は長慶天皇  
なんぶ ちようけいてんのう  
に差し上げたのがはじまりと  
いう説もあります。



うばすぎ や  
うば杉の焼けあと

ちようけい しゅうい  
直径5m、周囲  
きょだい すぎ  
15mの巨大な杉を  
ふくげん  
復元したもの。



ほんどう  
本堂

2020 (令和2) 年に、6年半  
かかった保存 修理工事が  
ほぞんしゅうりこうじ  
完了し、360年ぶりに建  
かんりよう ねん  
てられたころの姿によみ  
すがた  
がえりました。  
く に じゅうようぶん かざい  
〈国の重要文化財〉

に おうもん  
仁王門

かつら しみず  
桂清水

かつら き ねもと みず  
桂の木の根元から水がわいています。桂泉観音と呼ばれるいわれです。

※ 南北朝時代 【1336~1392年】  
南朝の年号：延元元~元中9年  
北朝の年号：建武3~明德3年

ちようてい なんちよう ほくちよう  
朝廷が南朝・北朝のふたつに分かれ対立し、戦がくり返された時代。  
ねんごう  
年号もそれぞれのものを使っていました。

参考 『寂庵だより 33号「桂泉遺想」大矢邦宣 1989年 / 『いわて文化財95号「天台寺よもやま話2」1986年 / 『八葉山天台寺だより 8号』天台寺 2020年 他

「けんぱくものしりシート」の内容は発行当  
時のものです。最新情報ではございませんで、  
あらかじめご了承ください。  
「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆し  
ております。



モッチャン



岩手県立博物館  
〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/